



もてなしの心で語る わが街

# えな自慢

えな自慢  
41

## 小里川ダム

庄内川(土岐川)流域を守る多目的ダム



▲小里川ダム(航空写真)

### ひと口メモ

ダム内部には見学設備が整備されていて、エレベーターによりダム中央のバルコニーでの眺望が楽しめる。ここの発電所の発電設備は、落差の変動が大きな箇所でも有効な、可変速誘導発電システムを世界で初めて採用している。

山岡町の瑞浪市境にあるダム。庄内川(土岐川)の相次ぐ水害から生命や財産を守る目的で、2004(平成16)年に完成した。このダムは国土交通省が直轄管理しており、東濃地域から尾張地域の水害を軽減するほか、河川環境の保全と放流水を利用した発電を目的とした多目的ダム。高さ114mの重力式コンクリートダムで、直線的なデザインの中に、洪水吐導流壁の構造を半円形として曲線を印象づけている点の特徴。建設時の掘削面は緑化などにより、周辺の自然林とマッチした景観も創出。ダムにより形成された「おりがわ湖」のほとりに、水車と新鮮野菜で有名な道の駅「おばあちゃん市・山岡」がある。



▲曲線をデザインに取り入れた洪水吐導流壁

## おばあちゃん市・山岡

巨大な木造水車がある道の駅

えな自慢  
42



▲道の駅「おばあちゃん市・山岡」

### ひと口メモ

駅名に使用されている「おばあちゃん市」は、旧山岡町で高齢者の生きがいの場づくりとして始まった「市」の名称。昨年、来駅者が300万人を達成し、11月に記念セレモニーが開催された。

山岡町田代地内の<sup>おりがわ</sup>小里川ダム湖畔で、2004(平成16)年に営業を開始した道の駅。この駅のシンボルである直径24mの巨大水車は、完成当時、木造水車として日本一の大きさを誇った。かつて陶土の製造に使われた水車を復元したもので、水の音・木の温もり・水車風景の安らぎなど、ダイナミックかつ癒やしの空間を提供。また、巨大水車の他のランドマークとして、小里川ダム水没地域の歴史を象徴する石造アーチ橋の「<sup>ようんぼし</sup>與運橋」と発電機を移築して展示している。この施設は、地域の農産物や各種特産品をPRしながら販売を行う地域活性化の拠点であり、地元で育てた新鮮な野菜や、手作り品を求めて訪れる都市部の人々との交流の場となっている。



▲與運橋(通称めがね橋)。ダム建設で水没してしまうことから、2003(平成15)年に移築された。

次号は2月15日号  
発行日は2月15日(火)です

広報えな No.144  
2011年(平成23年)  
2月1日発行

発行 恵那市役所/編集 企画課広報広聴係  
岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1 ☎26-2111/☎25-6150  
http://www.city.ena.lg.jp/ ☒info@city.ena.lg.jp

『広報えな』2月1日号、1部当たりの印刷経費は約11.3円(税込み)です。



◀市安心安全メール配信システム(登録用QRコード)  
市WEB版文字放送システム(閲覧用QRコード)

口問い合わせ 防災情報課(内線317)



『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。  
この印刷物は石油系インキではなく、地球に優しい植物油を使用したインキで印刷されています。

